



はるがやってきました♪



はにゆうしりつとしょかん

【はる】

「はるのあしおと」

千世繭子/作 フレーベル館 E/ハ

はる春って、なあに？ 春は、一体どこから来るの？



さが探してある歩いたノウサギの子がみつけたものは…？ 山里の自然をたっぷりと描いた絵本。

「はるにあえたよ」

原京子/文 ポプラ社 E/ハ

マークとマータはふたごの子ぐま。まだ外に出たことはありません。初めての春にわくわく…。ふたりは待ちきれなくなって、春を探しに出かけますが…。



「はるいちばん」

青山友美/作 講談社 E/ハ

かぜ風がぬるい。きょう、風がかわった！「ひゅううー」と春をつげる風を追いかけて、わたしは走る。いちばんに、風をつかまえるために。そして…。



「はるをさがしに」

亀岡亜希子/作・絵 文溪堂 E/ハ

小さなオコジョのタッチィには、春が来て、なかよしのくまさんが冬眠からさめるが楽しみでした。くまさんに早く会いたくて、春をさがす旅に出ます…。



「はるがきた」

ロイス・レンスキー/作 あすなろ書房 E/ハ

おひさまぼかぼか、風はさわやか。さあ、ドアを開けて外にとびだそう。新芽がめぶき、動物の赤ちゃんが生まれ…。春がきたよろこびを描いた絵本。



「はるはゆらゆら」

五味太郎/作 小学館 E/ハ

ゆらゆらするのなんでかな。ゆらゆらするのが春なのよ。ゆらゆらするのどうしてかな。それが春というものだ。それではゆらゆらおでかけします♪



【はる・さくら】

「はるをつかまえたうさぎちゃん」

いもとようこ/文・絵 ひかりのくに E/ハ

春をまだ知らないうさぎちゃん。春がどんなものか、みんなに聞きますが、誰にも答えられません。そこで冬眠中のくまさんのところへ行き…。



「はるかぜさんぽ」

えがしらみちこ/作 講談社 E/ハ

風によって、おさんぽしよう！女の子が春のおさんぽで出会ったのは、さくら、だんごむし、たんぽぽのわたげ…。思わず外へ出かけたくなる春の絵本♪



「たんぽぽのおくりもの」

片山令子/作 ひかりのくに E/タ

くまのコロんくんは待ちきれなくて、雪の中、春を探しに出かけました。いつの間にか夜になって、道に迷ったコロんは、茶色いくまのマロンちゃんの家にとどり着き…。



「てんとうむしぽっ」

中川ひろたか/文 ブロンズ新社 E/テ/ハ/ジ/テ

てんとうむしが「ぽっ」と飛んだら、チューリップが「ぽっ」と開いたよ。身近にある生きものの、ゆかいで楽しい音と動きを写真で楽しむファーストブック！



「おはなみ」

くすのきしげのり/作 あかね書房 E/オ

お花見の翌日、ハルトが公園にあそびにいくと、ミキとおばあちゃんがそうじをしています。「どうしてゴミをかたづけてるの」とたずねるハルトでしたが…



「おはなみくまちゃん」

シャーリー・バレンタイン/文 岩崎書店 E/オ

桜が満開になりました。くまちゃんたちはお花見をすることに。バスケットを準備し、太鼓を叩き、風を持って、お花見の始まりです！



「そらはさくらいろ」

村上康成/作・絵 ひかりのくに E/ソ

春、桜が散る中で、地面に寝っ転がるのは気持ちいい。でも空さんはいつもみてるだけ。空さんは寝っ転がって桜を見ることが出来る!? 独特の視点で描かれた絵本♪



「はなさかじいさん」

石崎洋司/文 講談社 E/ハ

働き者のじいさまとばあさまが大切に育てた犬のシロは、「ここほれ、わんわん」するとたくさんの宝物が!? それを聞いた隣のなまけもののじいさまは…。

